

共同研究

特別支援教育における支援機器活用 ネットワーク構築に関する研究

—高等専門学校との連携による支援ネットワークの構築—

平成 25 年度～27 年度

研究成果報告書

平成28年3月



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

はじめに

特別支援学校を中心として全国各地での支援機器活用に関する実践的な研究が広がってきている。各地で行われている研究会同士のつながりも図られつつあるが、機器の開発や支援についての情報交換を図るための課題やシステムの構築が求められている。また、これまでに高等専門学校、大学、工業高校などの教育機関と特別支援学校が連携して支援機器の開発や学校への支援は個別に行われてきた。そこで本研究では、「全国 KOSEN 福祉情報教育ネットワーク」と連携しつつ、全国での特別支援教育における教材・支援機器のセンター的機能としての教材開発のための連携システムを構築する。

目次

はじめに

I	背景と目的	1
1.	背景	1
2.	研究目的	1
II	研究の方法と本報告書の構成	2
1.	研究の方法	2
2.	倫理的配慮	2
3.	研究の経過	3
4.	本報告書の構成	3
III	国などにおける支援機器等教材の開発状況	4
1.	学びのイノベーション事業とフューチャースクール推進事業	4
2.	学習上の支援機器等教材研究開発支援事業	4
3.	支援機器等教材のニーズに関する全国調査	7
4.	まとめ	9
IV	特別支援学校と高専との連携	11
1.	特別支援学校と各地の高専との連携状況	11
2.	全国 KOSEN 福祉情報教育ネットワークとの連携で作られた シーズ&ニーズ集の活用	23
3.	特別支援学校ネットワークの活用	27
4.	高専と特別支援学校が連携しての支援機器・教材を開発する際のスキーム	29
V	ネットワーク構築の実際	31
1.	福島県立郡山養護学校と仙台高等専門学校の事例	31
2.	支援機器や教材作成にかかる情報交換のための Web 上のコミュニティサイトの作成	40
3.	支援機器活用のための研究協議会	43
4.	まとめ	46
VI	考察	47

研究体制

謝辞